

保護者の皆様、平素より、本校の教育活動にご支援・ご理解をいただき、ありがとうございます。

2学期の終業式では、生徒の皆さんに2学期の活動の振り返りや、今後の取り組みなどについて、お話をさせていただきました。

保護者の皆様には、改めまして、以下のとおり2学期の成果と課題をお示しして、今後の学校経営に取り組んでいきたいと考えます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

成果

1. あいさつを通して、互いに声をかける場面が増えました。

・登校時の「おはようございます」のあいさつが定着しています。

元気なあいさつで毎朝の学校生活がスタートできています。

・生徒会や生活委員を中心（ボランティアの生徒も含む）に生徒による積極的な声かけも定着しています。

・校内においても、あいさつやねぎらいの声かけなどのコミュニケーション活動が増えました。

※さらにこれらの活動について情報発信を行い、活動を推進します。

2. 生徒間の積極的な活動が増えました。

生徒間交流：授業の中でのペア、4人班、クラス全体の交流時などに活発な活動ができています。

自分の考えをしっかりと伝えて人の話を聞き、さらに自分の考えを深めることができています。

発表：プレゼンテーション力の向上が見られます。聞く人の視点に立ち、ポイントを明確にして伝えたり、ICT

やデータなども積極的に活用し、取組の見える化が図られています。

生徒主体の活動：教員からの一方的な指示だけでなく、生徒間の活発な意見交換などを活動の中に反映させたり、生徒による進行など、生徒主体の自治活動が定着してきました。

（授業、学級活動、学年行事、学校行事等）

※12月の学力向上アンケートより

・授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている（92.3%）

・授業では、学校の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う（95.3%）

※上記の活動を推進しながら、さらに授業の成果物などを積極的に掲示したり、発信することで、生徒の達成感、自尊感情を高めていきます。（成果の見える化）

課題

1. 生徒間トラブル

些細なことから、生徒間のトラブルに発展することがありました。

※改善方策

①個人の資質向上

- ・教育活動全体を通して、引き続き、相手の気持ちを考えた言動、行動等の指導について徹底を図ります。
- ・生徒指導の予防の観点（発達指示的生徒指導）から、学級活動等において、怒りのコントロール（アンガーマネージメント）やコミュニケーションのとり方などについての指導を推進します。
- ・道徳の時間等を活用し、引き続き、具体的な事例等を示して、人としての倫理観（ルール、マナー等）の向上を図ります。

②集団力の向上

- ・生徒間の絆が深まる取組を推進します。

上記の生徒間交流、発表、生徒主体の活動をさらに深めることで、生徒間の互いを思いあえる気持ちを醸成します。

2. 家庭学習

家庭学習については、以下のとおり、一定の課題を見つけることができました。

※12月の学力向上アンケートより

- ・家で自分で計画を立てて勉強している。（54.3%）
- ・家で学校の授業の復習をしている。（48.3%）
- ・月～金で、授業時間以外での一日の勉強（塾や家庭教師を含む）

2時間以上（36.3%） 1～2時間（29%） 30分～1時間（17%） 30分未満（17.7%）

※家庭学習の定着と工夫改善の方策

- ・家庭学習に関する意識啓発を引き続き行います。

定期的な家庭学習へのキャンペーン活動や「提出物やり切りデー」など、放課後学習を推進します。

- ・家庭学習において、授業で学んだ内容とスムーズに連動するような宿題（課題）等の工夫改善を行います。
- ・タブレット端末等のICT機器を有効活用した課題設定を行うなど、学習に取り組みやすい方策を示します。
- ・年5回の学力向上アンケート（5月 7月 10月 12月 2月）により効果検証を行い、その都度、指導改善を図っていきます。

これらのことから、以下の3つの点を意識して、引き続き、学校経営に取り組んでいきます。

1. 一人ひとりが安心して登校できる学校
2. 学校生活の中で楽しみを見つけて取組める学校
3. 学習の中にアウトプットの活動を取り入れ、学習理解を深めることができる学校

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。